

平成 26 年度版 L2-Tech リストの作成について (概要版)

1. 趣旨と背景

2050 年までに 80% の温室効果ガス排出削減を実現するためには、エネルギー消費量を抜本的に削減する大胆な低炭素化を進める必要がある。

平成 26 年 3 月、環境大臣は「L2-(エル)Tech(テック)・JAPAN イニシアティブ」と題して、二酸化炭素排出削減につながる先導的低炭素技術に関する情報を整備し、その開発・導入・普及を国内外で強力に推進することを発表。

2. L2-Tech リストの内容

L2-Tech とは、「エネルギー消費量削減・二酸化炭素排出削減のための先導的な要素技術またはそれが適用された設備・機器等のうち、エネルギー起源二酸化炭素の排出削減に最大の効果をもたらすもの」を指す。

当該時点において目指すべき「ベスト」を発信するために、商用化されている設備・機器のうち、実現されている最高効率を L2-Tech 水準とした。(商用化前や開発中のものについては、開発段階に応じた最高水準を L2-Tech 水準とした)

	区分・業種等
A 産業・業務 (業種共通)	空調、熱源、他
B 産業 (業種固有の製造設備等)	鉄鋼業、化学工業、紙・パルプ製造業、石油化学、ガラス製造業、自動車製造業、建機、農業(耕種用)、農業(施設園芸)、他
C 運輸	自動車(乗用車)、自動車(商用車・重量車)、二輪車、鉄道、船舶、航空機
D 家庭	家電、給湯器、窓ガラス、他
E エネルギー転換	再生可能エネルギー、火力発電、他
F 廃棄物処理・リサイクル	一般廃棄物、産業廃棄物、マテリアルリサイクル、下水処理、下水汚泥処理、他

業界団体等より情報を収集し、当該技術に専門的知見を有する有識者からも御意見をいただきながら、科学技術的・客観的観点から情報を整理した。

3. 今後の予定

引き続き基礎情報の収集を継続し、年 1 ~ 2 回程度のリスト更新を予定。

主として、環境省の設備導入補助事業、技術開発・実証事業などのさまざまな施策に活用することを想定。

平成 27 年度以降の実施については、必要な予算の確保が前提